

第87回 埼玉県駅伝競走大会

【出場結果】

実施日：2月2日（日）

コース：さいたま新都心駅前～熊谷文化スポーツ公園陸上競技場

総距離：6区間 42.195km チーム成績：2時間10分38秒 3/24位

出場者・リザルト：

1区	9.595km	親崎 達朗	3/24位	29分07秒
2区	4.3km	八木沢 直也	4/24位	13分37秒
3区	7.8km	渡辺 瑠偉	6/24位	25分00秒
4区	3.9km	松本 流星	3/24位	12分11秒
5区	10.5km	加藤 平	1/24位	32分52秒
6区	6.0km	石原 洸	3/24位	17分51秒

【レポート】

当日は晴天ながら北風が強く吹きつけるコンディションとなり、全区間が向かい風の中でレースが展開されました。

1区は奥むさし駅伝に引き続き、抜群の安定感を誇る親崎を起用。ラスト1kmまでレースの主導権を握って走りましたが、先頭集団後方で力を蓄えていた武蔵野学院大、日本薬科大の選手に逆にスパートを許し、先頭とは17秒差で2区へ。

2区はスピードランナーの八木沢を起用。トップとの差を一気に詰めて駅伝の流れを取り戻す走りに期待しましたが、後半の伸びを欠き先頭とは33秒差となり3区へ。

3区の渡辺は奥むさし駅伝で調子を取り戻したものの、強い向かい風に走りのリズムを奪われ、最後までリズムを取り戻すことなく先頭とは3分差をつけられて4区へ。

4区の松本は、今シーズン初の駅伝起用となり、与えられたチャンスを活かすため、入りの1kmから勢い良く走りだすと、そのままのペースをキープし、区間賞とは僅か2秒差の走りで5区へ。

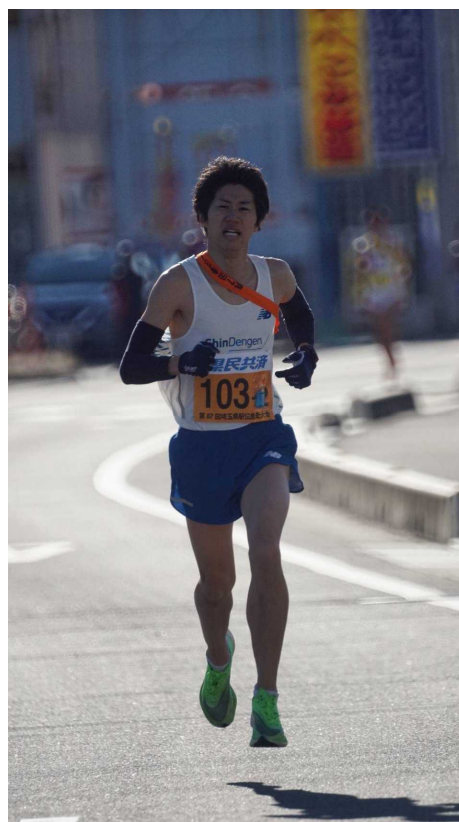
5区の加藤は、今シーズン絶好調を維持しており、区間新記録を意識して走りましたが、強い向かい風にスピードを奪われ、区間新記録こそ達成できませんでしたが、見事区間賞の走りで6区へ。

6区のアンカーを任された石原は視界に捉えることが出来ない、日本薬科大、武蔵野学院大の選手を懸命に追い、区間3位の走りを披露するも前方のチームには惜しくも届かず一般の部3位でのゴールとなりました。

ShinDengen /



1区 親崎



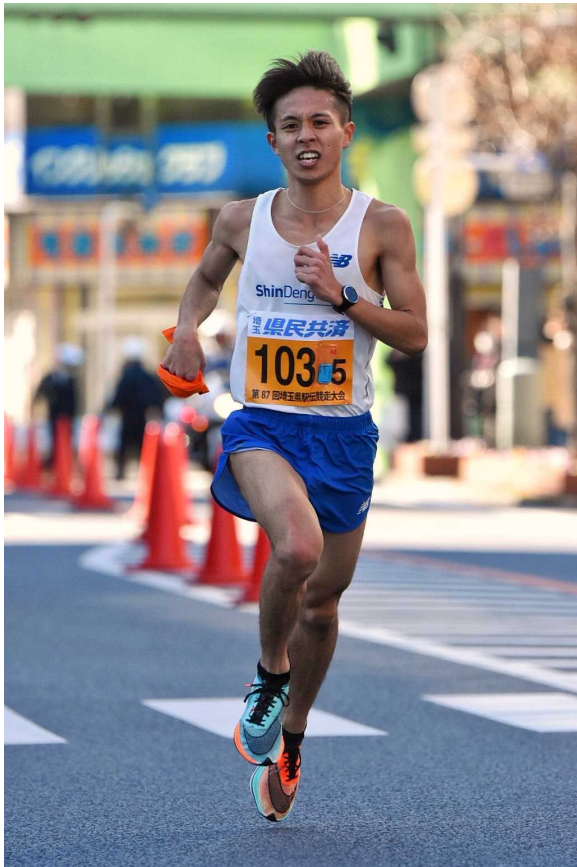
2区 八木沢



3区 渡辺



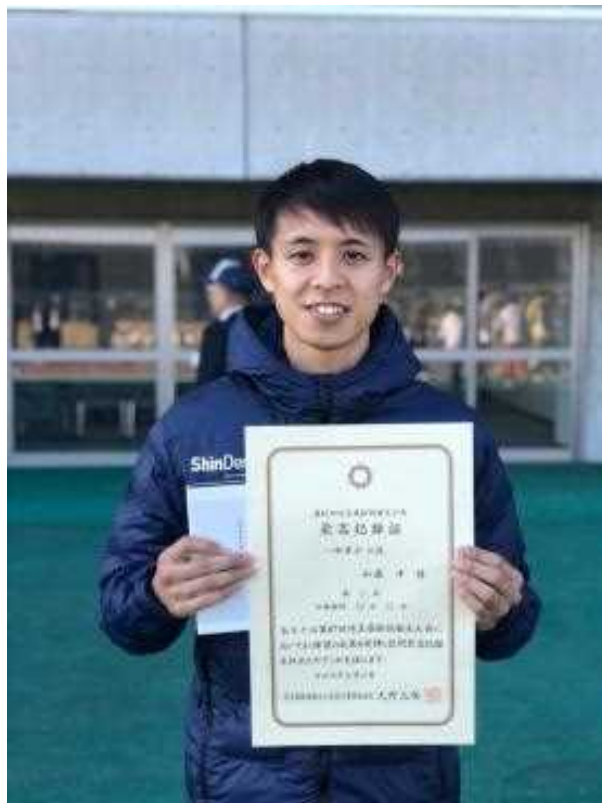
4区 松本



5区 加藤



6区 石原



加藤は2週続けての区間賞を獲得

ShinDengen /

【総括】

今回は、直前で選手の故障もあり、急遽オーダーを組み直して臨んだレースとなりましたが、一方で駅伝の流れに乗り切れれば優勝も狙えるチャンスもありました。

結果として、強い向かい風に走りのリズムを奪われたことと、最後まで駅伝の流れに乗ることが出来ず3位に終わりました。

優勝は叶いませんでしたが、随所で光る走りを魅せた選手も多く、今後のチームを担う選手達の成長は感じ取ることが出来ました。

今回のレースをもちまして、今年度チームとしての駅伝は最後となりますが、引き続き個人レースは続きますので、皆様の温かいご声援の程よろしくお願いいたします。

最後となりますが、今回も早朝から沿道に駆け付けて頂き、ご声援を頂きました、鈴木社長をはじめとする役員の皆様、会社関係者の皆様、本大会の役員としてご尽力頂いた会社関係者の皆様に、あらためましてチーム一同、御礼申し上げます。



今後も一丸となって、精一杯活動して参りますので、引き続きまして、ご声援賜りますようお願い致します。有難う御座いました。

以 上